

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	新規就農者数(累計)	人	—	—	2	3	4	4
2	農林産物の付加価値向上に取り組む事業者数	事業者	11	R2	11	11	11	15
3	中山間地域の活性化・魅力化につながる取組件数	件	1	R2	1	1	2	5
4	利用間伐施業面積	ha	55	R2	51.55	45.63	47.59	60
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1 農業・林業が盛んに行われている	重要度	0.77	0.89	令和2年度と比較すると、重要度は高くなっており、農林業の重要度が市民に浸透している一方で、満足度が低くなっており、各事業におけるさらなる取り組みが必要である。
	満足度	▲ 0.17	▲ 0.36	
2	重要度			
	満足度			
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 農業経営体の育成・確保	担い手となる若者や女性を中心とした多様な新規就農者や集落営農組織等の育成・確保を図り、農業経営体の育成・確保に努めた。引き続き、農業経営体を支援していく。
② 農業経営の安定化	地域農業の現状や課題の整理・協議により、地域の将来方針を定める「地域計画」の策定をすることができた。引き続き、持続可能な農業経営を目指し地域計画の実現に努める。
③ 中山間地域の活性化・魅力化	中山間地域における農業生産活動を支援し、地域の活性化に努めた。他市町の取り組み等の調査研究を通じて、さらに魅力ある地域資源を活用した地域活性化策を進める。
④ 林業経営の安定化	林業事業者による林業施業の集約化や路網整備等の活動を支援し、林業事業者の安定化に努めた。今後も林業経営体の経営が安定するよう支援する。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

<p>農業経営体の育成・確保については、6次産業化の取り組みなど持続可能かつ高付加価値な農業を行う経営体を亀山サステナブルファーマーとして6事業者を認証し、奨励金の交付を行った。亀山市経営開始資金については、新規就農者1名の継続受給に留まり、新規就農者の拡大は図れなかった。また、経営安定化に寄与するためのサステナブル農業奨励事業補助金については、研修を受講する認定農業者1名に交付した。農業経営の安定化については、農業従事者の高齢化や後継者不足等の「人と農地の問題」を解決するため、市内18地区で「地域計画」の策定を行うことができた。豚熱や鳥インフルエンザなどの家畜伝染病対策として消毒用の消石灰の配布や豚熱ワクチン接種費用の補助金を交付するなど農畜産業の経営の安定化の支援を行った。さらに、亀山茶の消費拡大として、日本茶インストラクターの派遣や市民団体との協働事業を行い、年間を通じて亀山茶の普及に努めた。また、県外イベントでの亀山茶の販売や納涼大会等市内イベントでの呈茶を積極的に実施するなどの取り組みを推進した。一方、6次産業化については、茶農業者と菓子製作者とのマッチングなど亀山茶を使ったお菓子の開発への支援に努めた。また、中山間地域の活性化・魅力化については、中山間地域活性化事業において2団体が補助金を活用し、地域資源を生かしたイベントが開催され、市内外から見学者が訪れるなど盛況であった。林業経営の安定化については、市内林業事業者への支援により、森林整備計画で位置付けた生産林における利用間伐や間伐材の排出等、適切な森林整備が実施され、森林の持つ公益的機能の維持・発揮が図られた。林業の安定した事業量が確保されたことにより、林業事業者の経営の安定化につながった。獣害対策については、自治会やまちづくり協議会を対象に出前トークを実施し、有害鳥獣の侵入防止や追い払い、エサ資源や潜み場の状況改善等を周知啓発を行うとともに、侵入防護柵の設置補助や有害鳥獣の捕獲を進めたが、野生鳥獣による農業被害は微増となっている。さらに、今後の効率的な獣害捕獲に向け、三重大学及び猟友会と連携して獣害リスクマップの作成に取り組み、亀山C群のサル及びニホンジカはGPSによる行動域調査にも着手した。全体としては、基本施策で設定した成果指標に対して進んでいない項目はあるものの、概ね順調に進んでおり、基本施策が目指す姿に順調に近づいていると考える。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>まずは進んだ</p>
--	---

今後の展開方針

<p>農業経営体の育成・確保と農業経営の安定化については、地域農業の維持・発展を図り、農業の担い手の育成・確保と農業経営の安定化を図るため、農畜産業への支援を継続して実施するとともに、各地区での地域計画の協議を支援し地域計画の実現を図っていく。また、認定農業者や営農組織が持続的に経営が図れるよう、農地の集積や持続可能な農業経営の安定化への支援を進める。特産品であるお茶については、亀山市茶業組合等と連携し、亀山茶の知名度向上のためのPR活動を実施するなど、亀山茶の魅力発信につながる取り組みを進め、関係機関と連携し効果的な販路の開拓を行う。地域の資源を生かした6次産業化や他分野との連携、ブランド化等により農畜産物の付加価値向上を促進し、稼げる農業への取り組みを支援する。中山間地域の活性化・魅力化については、今後も魅力ある地域資源を活用した地域活性化策を進めるため、活動団体への支援を継続して実施する。林業経営の安定化については、林業事業者の生産活動に対して引き続き支援を行い、林業生産活動支援事業を着実に進めることで、林業事業者の経営の安定化と適切な森林の管理につなげていく。亀山C群のサルは、環境省のガイドラインに基づく加害レベル調査では著しく加害性が高いと判定されたことから全頭捕獲を目的に進める。これ以外の群れは、特性に応じた対策を講じるため、群れ毎の行動域調査や加害レベル調査を順次実施していく。また、獣害リスクマップは、サル及びニホンジカに加えてイノシシについてもGPSを装着し、獣害全般についても作成を進める。</p>
--